

# 授業科目 救急蘇生法演習

【担当教員名】  川上 心也	対象学年	4	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎
【一般目標：G10】 一般市民が行うことのできる応急救護の概念を理解し、CPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）を組み合わせた応急救護法を実施できる。				
【行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各疾患の救急対応法を理解できる。</li> <li>2. 応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。</li> <li>3. 気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。</li> <li>4. 気道の確保について理解し、実施できる。</li> <li>5. 効果的なCPRを実施できる。</li> <li>6. 病气やけがに応じた対処法を理解し、実施できる。</li> <li>7. AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。</li> <li>8. 応急救護法が必要な現場に遭遇した場合の対処法を説明できる。</li> </ol>				
回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			
2	スポーツ現場での救急対応		1	講義
3	精神科救急とその対応		1	講義
4	内科的救急対応（1）		1	講義
5	内科的救急対応（2）		1	講義
6	応急救護法とは		2	演習、担当：川上 心也 他
7	蘇生の連鎖と感染の予防		2	演習、担当：川上 心也 他
8	気道、呼吸、循環の初期の評価		3	演習、担当：川上 心也 他
9	気道の確保		4	演習、担当：川上 心也 他
10	CPR（心肺蘇生法）		5	演習、担当：川上 心也 他
11	病气やけがに応じた対処法		6	演習、担当：川上 心也 他
12	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（1）		7	演習、担当：川上 心也 他
13	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（2）		7	演習、担当：川上 心也 他
14	知識の確認		8	演習、担当：川上 心也 他
15	まとめ		8	演習、担当：川上 心也 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書		救急蘇生法の指針 市民用・解説編 改訂3版	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（監修）	へるす出版 2006・1,260円
その他の資料				
【評価方法】 出席状況、授業態度、筆記試験等で総合的に評価する。		【履修上の留意点】 25名程度のグループで行い、グループは前年度中に発表します。		